

TAKE FREE

No.
95

イマ*イチ

イマデガワでイチバンの地域情報誌

5月号
2023



特集テーマ 「ご褒美」 いつも頑張るあなたへ
今出川の6つの場所をご紹介します

連載 「これがキョウジュの生きる道」 杉浦秀行先生

銭湯で
リラックス。

お気に入りの
アクセサリーで
出かけよう。

創作料理で
贅沢にいこう。

いつも頑張る自分へ
ご褒美をあげよう。

特集 「ご褒美」

頑張った自分へ

4月は新たな環境で、新たな出会いもある大切な

時期だから、疲れてしまいますよね。

そんな春のスタートを頑張った自分へ。

ほんの少しだけ、いつもより贅沢なひとときを。

素敵なカフェで一息つこう。

特別なノートで
日々頑張る
自分へ。

おいしいハンバーガーで
腹を満たす。

CONTENTS

- 02 掲載店舗地図
- 03 OLU BURGER KYOTO
- 04 カフェ・プラスショコラ御所北
- 05 SHOP peaberry / 美しいノート Ileno
- 06 松葉湯
- 07 ナガグツ食堂 DALI | 19 イタリアン+ONE
- 08 連載「これがキョウジュの生きる道」
- 10 出張版スポーツアトム
- 13 ボランティア支援室からのお知らせ
- 14 WOT・CT
- 15 コラム
- 16 編集後記「私へのご褒美」
- 17 読者プレゼント

新しい生活にちょっと一息

私へのご褒美

Treat Myself



- 01 OLU BURGER KYOTO ⇒p.03
- 02 カフェ・プラスショコラ御所北 ⇒p.04
- 03 SHOP peaberry ⇒p.05
- 04 美しいノート Ileno ⇒p.05
- 05 松葉湯 ⇒p.06
- 06 ナガグツ食堂 DAL1119 イタリアン +ONE ⇒p.07

OLU BURGER

いつも頑張る自分へ、ちょっとご褒美。

01

和食とバーガーの絶妙な融合を
楽しめるバーガーショップ
ここでしか味わえない
和テイストバーガーを口いっぱい

店名の「OLU」には2つの意味が込められている。ひとつはハワイ語で「心地よい」。ふたつ目は関西弁の「おる」、標準語の「いる（居る）」。

OLU BURGER KYOTO

Treat Myself
01



DASHIMAKI BURGER 1,250円(税抜)

出汁巻卵と九条葱のバーガー。ふわふわの出汁巻卵と九条葱の美味しさが感じられる一品。一度に和食の上品さとバーガーのジャンキーさを味わえる。

京都食材 × バーガー
= 和テイストバーガー



■ **大注目のバーガーショップ**
神宮丸太町にあるシックな外観のOLU BURGER KYOTO。2020年のオープン以降、ポリユミーな地産地消バーガーとして名を馳せ、数多くの雑誌やテレビで紹介されているお店だ。

■ **見た目だけじゃない、食材にも多数の魅力が！**
インパクトのある見た目に加え、食材にも店主のこだわりと魅力が詰まっている。食材は全て京都産で、パテは厳選した和牛を100%使用。野菜は朝一で採れたものを使用しているため新鮮さを感じる。パンズは京都の人気ベーカリーと共同開発したもの。このパンズが和牛から溢れ出る肉汁を吸い取るため、余すことなく和牛を堪能できるのだとか。

見た目も食材も
オンリーワンなバーガー



MONTHLY BURGER 1,500円(税抜) フレンチフライセットは+280円

写真は生ハム・アボカド・モッツアレラが入った3月 MONTHLY BURGER。肉汁とアボカドのクリーミーさが絶品。セットのポテトはサクサクでバーガーと相性抜群。
4月のMONTHLY BURGERは、大蔥(にんにく)、オリーブオイルのバーガーで、お値段は1,400円(税抜)。

■ **OLU BURGER KYOTO**
20種類以上の豊富なメニューの中でも特徴的なのは「TRADITIONAL BURGER」。蓮根や九条葱、山椒ソース、出汁巻卵といった和テイストの食材がサンドされている。この和テイストの食材とアメリカンなバーガーの融合は新感覚の味である。

またMONTHLY BURGERもOLU BURGER KYOTOの特徴の一つ。店主がその時期に合わせて考案した各月限定のメニューは必須である。

どのバーガーも厳選和牛と京都産食材、それらをひとつにまとめる特製パンズが使用されているOLU BURGER KYOTOのバーガーは、自分へのご褒美としてピッタリである。



1.



2.

1. このお店をイメージして書かれた本が出版されている。「春待ち雑貨店 ぶらたん」
2. 春をイメージする作品が並ぶ。季節に合わせて企画展示が行われている。

03

Treat Myself 04

美しいノート Ileno

リエノ

■世界で唯一の「ノート専門店」

店主である神田さんがノート作りを始めたきっかけは、神田さんの父の日記である。父は普段から口数が少なかったが、死後に見つかった日記からは、重病にかかった神田さんを心配する想いが書かれていた。文字の大切さを実感した神田さんは、前例もなく無謀と言われた手製によるノート作りを始めた。



1. 一つ一つ手作りでされた美しいノートが並ぶ。
2. 誕生日が記入された「運命のノート」。これらにも名入れをすることが出来る。

1.



2.

運命のノート

SHOP peaberry

Treat Myself 03

■「あったらいいな」がここに

京都御所からほど近い、烏丸丸太町にある小さなハンドメイド雑貨店「SHOP peaberry」。店名の由来は、「pea berry」という、ごく稀にしか発見されないコーヒード豆の種類である。この店名には「小さいけれども特別感のある雑貨を届けたい」という店主の想い（ますじ）さんの願いが込められている。

木の温もりを感じる店内には、北海道から九州まで、全国のような作家さんの手によって作られたハンドメイド雑貨が並ぶ。



作家さんが一つ一つ手作りで作品が並ぶ。

作家さんの作品に込める想い、このお店を通じて伝えることを大切にしていると枹次さんは話す。

お店を訪れる方の中には、宝探しのよう目を探り、つい長い時間滞在してしまう方もいるという。

新生活を彩る自分だけの特別なご褒美と、あなたもきっと出会えるだろう。

04

書くは「覚悟」の覚



■ノートにしかできないこと

ノートならではの魅力について、どんな感情もそのまま筆跡として残せることだと神田さんは語る。神田さん自身も、創業時に夢を書き綴ったノートを見返して、純粋に未来を信じる若い頃の自分に励まされることもあるのだそう。

Ilenoで作られるノートは、表紙の色や紙質、柄などを選べるだけでなく、名前やメッセージを入れることもできる。結婚式の引き出物やプレゼントとして、はたまた自分へのご褒美としても、一度手に取ってみてほしいか



いつも頑張る自分へ、ちょっとご褒美。

02

壁一面に国内外からセレクトした板チョコレートの見本パッケージがずらり。購入して持ち帰り可能。

Treat Myself 02

カフェ・プラスショコラ御所北



1.



2.

■本来のカカオの甘さを味わう

Bean to Bar 専門店でありながら食材としてのカカオを追求する「カフェ・プラスショコラ御所北」。元々は倉庫として借りる予定だったが、建物の雰囲気あまりに良かったためにシエアショップとしてオープン。宮川町本店に続く2号店だ。カカオを取り入れて元気になってほしいという想いでお店を手掛けている。

チョコレートにはカカオの実の種しか使われていないが、カカオの周りにある果肉には果物のような甘さがあるらしい。カカオを食材として料理に取り入れているのは、カカオリッチチョコレートという概念を変えたいからだそう。



ご褒美としておすすめなのは、カカオランチセット。さらに、ドリンクとケーキをつけるとカカオをたっぷり味わうことができる。

外にはテイクアウト用のレジがある。「チョコバナナホットサンドとドリンクを片手に、鴨川で緑に囲まれながらピクニックをしてみよう」と語る店主。新緑の季節である5月にぴったり。カカオ本来の香りと、甘すぎないチョコバナナの味わいが楽しめる。

店主にとって「ご褒美」とは、「美味しいご飯を食べる」こと。是非、素材の味を活かした本来のカカオを「カフェ・プラスショコラ御所北」で楽しんでほしいか



3.

1. 月替わり 板チョコレート食べ比べ 甘めセット ¥1000
甘めセットの他に、ビターセットと季節感のあるセットの3種。
※2ヶ月おきにメニューが変わる。今回は3~4月のメニューを紹介。5月からはまた違った板チョコレートを楽しむことができる。
2. ガトーショコラ(小麦粉不使用・低糖質)
3. 開店当初からスタッフYさんが描いていらっしゃる看板。イラストは完全に趣味なんだとか。

Treat Myself
06

ナガグツ食堂 DAL1119 イタリアン+ONE



yummy!

店主 松山貴政さん

■イタリアン+ONEの創作料理屋

民家の立ち並ぶ小道を歩いていると現れる、長靴マークが描かれた看板。イタリアン+ONEを掲げるナガグツ食堂だ。店名の由来は、イタリアの国の形が長靴に似ていることからだそう。店内は8席のL字型カウンター席のみで、控えめながらも温かみのある空間だ。壁には海外の可愛い雑貨や、美しい写真が飾られている。

元々はバイクの整備士をされていた店主の松山さん。ワーキングホリデーでニュージーランドへ向かうも、仕事にどこか退屈さを感じたそう。そこで偶然見つけたトルコ料理屋の求人に応募。そのお店で働いたことがきっかけで料理を始めることとなった。現在は地元西陣で、トルコ料理に似た特徴を持つイタリアンを中心に、トルコ、ニュージーランド、台湾などの調理法を使用した創作料理を提供している。



ボークステーキ



前菜盛り合わせ



西陣カルボナーラ

06

今回紹介するのは、前菜盛り合わせ、西陣カルボナーラ、メインの3種類からなるコース仕立てのアラカルト。(※メインの内容は日によって変わる場合あり。)色鮮やかで見た目も楽しめる前菜を堪能した後に出てくるのは、西陣カルボナーラだ。このカルボナーラには、西陣の老舗昆布屋の「五辻の昆布」が使用されている。地元西陣を活性化させたいという松山さんと五辻の昆布店主の想いから、このコラボが実現したそう。また、メインのボークステーキでは、こぶし大の豚肉を、贅沢にも塊でいただくことができる。頑張った自分へ、ご褒美感満載の料理をプレゼントしてみてください。



いつも頑張る自分へ、ちょっとご褒美。



Treat Myself
05

松葉湯



1. 全体的にヨーロッパ調の浴室。
2. 遊び心をくすぐる銭湯。
3. 現在浴槽には、セキセイインコ・コザクラインコ・オカメインコ・ポタンインコ・文鳥がいる。その下にはリクガメの亀太郎もいるとのこと。

■インコ銭湯!?

下立売通の住宅街に佇む松葉湯。明治時代創業で、現在は3代目の松井宗六さんが営んでいる。「インコ銭湯」として知られている松葉湯。まずは入ってすぐの番台にあるボウシインコのオーちゃんにご挨拶し、浴室へ。ヨーロッパ調の浴室は、アーチ型の天井とアルプスの山々の壁画により広々としている。男湯・女湯を仕切る壁には植栽もあり、自然を感じられる縁に癒される。さらに奥へ進むと、ガラス張りの小屋に入ったインコたちが目に入る。

浴室でのインコ飼育とはある偶然から始まった。ある日の開店前、松井さんが飼っていた3羽のインコを浴室の観葉植物のスペースに放したところ、呼んでも戻ってこなくなり、仕方なくその日はそのまま閉店することに。お客様は驚きながらも面白がり、評判は良かったという。そのため松井さんは、ガラス張りの鳥小屋を作り、現在もお客様がインコの観賞を楽しめるようにしている。インコたちの仲の良い様子を見る時間は、まさに癒しである。



ボウシインコのオーちゃん。松葉湯の一番人気。

■心も体も癒されに

松葉湯の特徴はインコだけではない。地下から汲み上げた水を薪で焚いている。近年は重油を使う銭湯も多い中、薪で焚くことにより柔らかいお湯になるという。「寒い季節でも体の芯から温まる」というお客様も多いそう。

松井さんは「今後も松葉湯を残していくことが目標」と語る。インコを見ながら、薪で焚かれたお風呂に入る。この唯一無二の癒しを自分へのご褒美として体感してみたいかがだろうか。

スギウラ_ヒデユキ
 # 出会いに刺激された研究心
 # 乗り越えた恩師との別れ
 # 底なしのチャレンジ精神



道

2023

イマ会えるイチ番偉い人
 「大学キョウジュ」の人生を
 折れ線グラフで掘り下げる連載

これがキョウジュの生きざら

同志社大学
 文学部英文学科
 准教授

杉浦 秀行

2人の先生との出会い

文学部英文学科に所属し、会話分析をテーマとするゼミや語用論などの専門科目を担当している杉浦キョウジュ。語用論とは、話し手がコンテキストの中でどのように発話を構成し、それを聞き手がどう理解するのかについて考察する分野である。

このような日常会話にも関連する授業について、学生との距離を縮めることで内容に興味を持ってもらいたいというキョウジュ。そんなキョウジュが大学で英語を教えることとなった経緯には、キョウジュが出会った2人の先生が関係していた。

1人目はキョウジュが高校時代に通っていた塾の大学生講師である。キョウジュはこの大学生講師に英語を教えてもらった影響で、中高の英語教師になりたという目標を持つようになった。1度浪人したものの、英語は誰にも負けたくないという思いで熱心に勉強し、明治学院大学文学部英文学科に入学。大学では勉学に力を注ぎ充実した日々を送っていた。卒業後の進路について、そのまま中高の英語教師になるという選択肢もあった。しかしキョウジュは、教師になる前にもっと研究がしたいと思い、大学院への進学を選択した。

中高の教師では研究を続けることは難しく、大学教授として研究をしながら英語を教える道もあると教わる。研究が好きだったキョウジュは、今後も研究を続けたいと思い、博士課程まで進むことを決意。キョウジュは、研究の道を示してくれた大学院の恩師に博士課程でも師事しようと考えていた。しかし、博士課程の試験を受けようとした矢先、その恩師が亡くなってしまった。

海外での学び

恩師を亡くしたキョウジュであったが、学部時代の先生のアドバイスもあり、博士号取得のため海外へ留学することに。まずカナダの大学で、話し言葉の分析等の研究を進めていた。そんな中で結婚。お金を貯める必要性を感じたため、一旦休学し日本へ帰国する。

日本では、縁があり母校で英語教員として採用され、母校での指導にやりがいを感じていた。その一方、定年までこのまま英語を教えるだけでいいのだろうか、キョウジュの研究心はうずうずしていた。

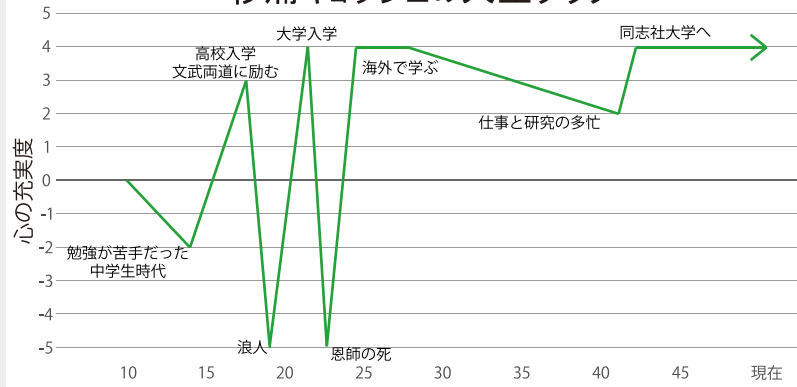
研究のため大学院に戻ることを決意したキョウジュ。香港人の奥様も就労ビザを取りやすいニュージーランドを選択した。ニュージーランドのオークランド大学へ進学し、研究に加えてニュージーランドの学生に日本語を教える授業も経験した。

博士課程修了後も、キョウジュは常にチャレンジ精神を持っていた。まず香港の短大で日本語を教える仕事に就き、その後、日本の茨城大学で留学生に日本語を教えた。日本語指導では、オークランド大学での授業経験を生かすことができたが、キョウジュはもっと自身の研究テーマを教えたいと考えるように。そして研究・授業の質の向上を目指し、摂南大学外国語学部の教員の道へ進む。そこで初めて会話分析をテーマとしたゼミを受け持つことができた。摂南大学での

為せば成る

多くのことに挑戦してきたキョウジュが人生において大切にしていることは、「為せば成る為さねば成らぬ」という精神である。「若いうちは失敗してもまたチャレンジすればいいじゃない。最初から諦めていたら何も変わらないけど、チャレンジすればうまくいくかもしれないから。」と語るキョウジュの姿に、筆者もチャレンジ精神を忘れずにいたいと強く感じた。

杉浦キョウジュの人生グラフ



体育会の情報誌「同志社スポーツアトム」がイマ*イチに出張掲載。
体育会の活躍をイマ*イチの読者にもお届けします。



▲ 華麗な滑りを見せる平井

3月2〜7日に妙高高原（新潟県）にて行われた第93回全関西学生スキー選手権大会。女子は見事優勝し10連覇を達成した。
1日目は女子10kmクラシカル、大学対抗戦大会大回転競技が行われた。緊張感が漂う中で始まった10kmクラシカルスタートから渡邊が先頭を独走し1位でゴールした。
大回転では平井が3位のタイムを出すもチームとしての点は振るわず、悔しい結果となった。

4年生にとって最後の大回転競技となる2日目のチャンピオン大会は、天候不良により2走目がキャンセルとなる。3日目は女子5kmフリーと回転競技のチャンピオン大会が行われた。1日目同様、渡邊が圧倒的な走りを見せ、1位でゴール。回転競技でも4日目に行われる大学対抗戦へとつながる滑りを見せる。しかし、3日目は同志社72.0点、京産大71.7点と0.3ポイント差で終了。4日目の競技への緊張感がチームに漂った。
10連覇達成に向けて重要な1戦となった4日目。女子スプリントではクロスカントリーに出場する3選手全員が決勝へ進出すると、1・2・4位に入賞しチームに貢献した。また、回転競技の大学対抗戦では平井が1走2走ともに1位のタイムを叩き出すと、会場の空気は同志社一色となる。流れに乗り京産大とのポイント差を広げた。

最終種目となる3x5kmリレー。渡邊がスタートを切ると首位を独走し近藤へつなぐ。2位との差を広げながら走順は青谷へと渡った。コースを回り会場へ戻ってくる平井から青谷へ部旗が渡されゴール。0.3点差だったポイント差を20.3点差まで広げ見事10連覇を成し遂げた。
10連覇という快挙を成し遂げたスキー部女子。同志社のチーム力を見せつけた。11連覇に向けて、スキー部の挑戦は続く。



▲ 安定した滑りを見せる渡邊



▲ 攻撃を仕掛ける岡崎（左）

3月11日、KANSAI LACROSSE OPENがYONEX 堺にて行われた。技術の底上げを図り、チームでスキルや戦術を共有。そして、技術力だけでなく組織力の向上も図った結果、新体制初めての公式戦で2連勝を果たし、好調な滑り出しを見せた。
初戦の相手は関学大。最初のドロワーを松本がものにする、開始1分岡崎がシュート。先制点にチームが沸いた。さらに連続得点が決まり、一時はリードするも少しの隙を取られ痛恨の失点。「昨シーズンの課題が引き続き目立った（平井）。ボールを相手に回すとディフェンスを固められず、混戦へと持ち込まれた。
前半を終えて4-3。「アタックではしたいことができた」（平井）。松田と平井による見事な連携プレーにより、詰め寄りクイックシュート。また、岡崎のロングシュートが決まり、同志社に流れを呼び込んだ。ドロワーを着実に制することでポゼッションを保ち相手に隙を与えない。後半戦を無失点で終え、7-3で白星を挙げた。
神大を相手に2戦目が始まった。開始早々ベナルティを獲得すると先制点を挙げる。しかし、パスをつなぐ際のミスから相手に流れをつかまれ、思うような試合展開を演じることができない。「練習で声が出てないと、試合にも影響がでる」（平井）。声かけが少ないことから連携が上手くいかず逆転を許した。
1-2で迎えた後半戦。開始1分で放たれたシュートが攻撃の起点となり、松本の猛追が続く。力強くシュートを打ち込む攻撃は相手ゴリー

女子ラクロス部

を翻弄し、逆転に成功。全員が走り切ることでこの試合を5-3でものにした。
今年度の理念では「考える」という言葉を掲げた。練習でも試合でも自ら選択し動けるよう、平井が先陣を切り同志社を更に躍進させる。



▲ 指示を出す平井



ボランティア支援室からのお知らせ



同志社大学ボランティア支援室とは？

幅広い分野のボランティア情報が集まる、ボランティア活動の相談窓口です。ボランティア支援室が主催するボランティアプログラム・セミナーなどもあり、初めての人でも安心してボランティアを始めることができます。



ボランティアプログラムや講座を開催しています！

ボランティア支援室では、ボランティア活動経験がない方でも参加しやすいプログラムや交流会、講座等を開催しています。

最新情報は
HPをCheck!



月に1回メルマガを配信中！
最新のボランティア情報をお届け！



メールマガジンのご登録はコチラ

\ ボランティア相談 受付中 /

ボランティア支援室では、学生ボランティアの相談、また地域団体からのボランティア依頼を受け付けています！

*学生のみなさまへ

ボランティア支援室では、現在募集中のボランティア募集チラシを配架しています！ご自由にご覧ください。

また、ボランティアに関して不安や困りごとがある場合は、窓口でご相談ください！

*学生ボランティアの依頼を希望される団体さまへ

初めて依頼される場合は、【団体登録】並び【ボランティア募集シート提出】の手続きが必要となります。詳しくはボランティア支援室HPの「学外の方 (<https://volunteer.doshisha.ac.jp/outside/>)」をご覧ください。ただか、お電話にてお問い合わせください。

手続き詳細

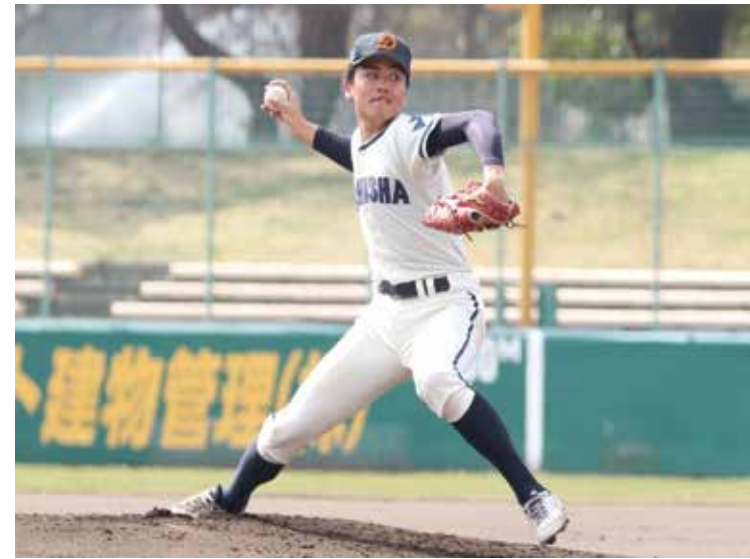


問い合わせ先

同志社大学ボランティア支援室

窓口開室時間 平日 9:00~17:00 (11:30~12:30は閉室)

- 今出川校地 寒梅館1階 [TEL]075-251-3236 [e-mail]ji-volun@mail.doshisha.ac.jp
- 京田辺校地 成心館1階 [TEL]0774-65-6777 [e-mail]jt-volun@mail.doshisha.ac.jp



▲ 3回無失点の投球を見せた北口

3月10日、令和5年度関西六大学準硬式野球連盟春季リーグ第1節2回戦がわかさスタジアム京都で行われた。同志社は関大と対戦し、10-0で8回コールド勝ち。前日に完封負けを喫した相手に鬱憤を晴らす戦いぶりを見せ、今季初勝利を手にした。「初回から一気にいく」(井筒)。昨日の反省から、試合を初回から動かす。1番の篠原が四球で出塁し、1死2塁で打席に

は3番岡田。「先制点を絶対にとる」(岡田)。右適時打を打ち、先制点を獲得する。さらに打線は2回、1死から中澤が出塁すると篠原が左適時打を打ち、早くも相手先発をマウンドから引きずり下ろした。そして代わった2番手投手から池谷がスクイズを決め、なおも二、三塁の局面で岡田に打席が回る。「大きいのは狙わずにライナーの意識」(岡田)。コンバクトに振り抜きセンターを越える適時二塁打に。2回で6点を奪い、流れを引き寄せた。一方、先発のマウンドに上がったのは北口。制球にばらつきこそあったが、初回からテンポのよい投球を披露する。2番手を務めたのは竹本。課題の残る投球となるも2イニングを0点に抑えた。その後は中川が3イニングをビシヤリ。「やることはいつも通り」(中川)と仕事人ぶりを発揮した。打線は8回にもつながり4得点。リードを10点に広げ、8回コールドで今季初勝利を挙げた。「岡田があそこでも1本出してくれたのがターニングポイントだった」(井筒)と中軸として躍動した岡田を称賛。また、前日の反省から足を絡めた攻撃が見られたのも今後に向けて好材料だ。「優勝に向けて対国公立4勝がマストになる」(井筒)。一戦一戦白星を積み重ね、ここから優勝への道筋を描く。



▲ 先制打を含む2安打3打点の活躍を見せた岡田

WHAT'S ON THURSDAYS! WOT

開講期間中、寒梅館ハーディーホールでは、映画上映やコンサートなど様々なプログラムを開催します。

<https://student-support.doshisha.ac.jp/extra-program/wot.html>

- ・会場：寒梅館ハーディーホール（今出川校地 寒梅館地下1階）
- ・料金：一般有料

同志社大学学生・教職員は無料 *同志社内諸学校を含みます（要学生証・教職員証）

CLOVER THEATER CT

開講期間中、寒梅館クローバーホールでは、映画・音楽・アートなど先鋭的なプログラムを開催します。

<https://student-support.doshisha.ac.jp/extra-program/clover.html>

- ・会場：寒梅館クローバーホール（今出川校地 寒梅館地下1階）
- ・料金：一般有料

同志社大学学生・教職員は無料 *同志社内諸学校を含みます（要学生証・教職員証）

引き続き、課外プログラム WOT、CT では一般の方を対象としたイベントの開催は中止いたします。平素より寒梅館ホールへお越しいただくことを楽しみにされている皆様には申し訳ございませんが、ご理解を賜れましたら幸いです。

WOT/CT チャンネル

映画など様々な文化を紹介するレクチャー等の配信企画「WOT/CT チャンネル」を立ち上げました。学生支援センター YouTube サイトにて配信中です。ぜひお楽しみください。

番組最新情報・
その他配信番組一覧はこちら



今月のコラム

春の今出川

2021年4月1日

文学部3年

「春の今出川」と聞いて、あなたは何を思い浮かべるだろう。私は2年前の入学式の日を思い出した。2021年4月1日木曜日、天気は快晴。雲ひとつない青空の下、春風が吹いていた。

「今日から私は同志社生なんだ」
そう意気込んだ入学式当日の朝、私は式典会場ではない今出川キャンパスに向かった。

「今出川キャンパスの校門前であなただを撮りたい。桜も一緒に写したい」
母が珍しく私にお願いをしたからである。阪急電車を何度か利用したことはあったのに、同志社生として乗る阪急電車に、なぜか私はそわそわしていた。どんな未来が待っているだろう、期待と不安の気持ちで胸がいっぱいだった。電車の窓から見える街並みはどれも新鮮であった。しかしこう思えるのは今の私しかない。いつかこの景色を懐かしむ日が来るのだから。

今出川キャンパスに着いて、「同志社大学」と書かれた校門を探した。歩き慣れないキャンパスはまるで迷路で、

私と母はうろろろしていた。そして校門前に着き、母は私を撮った。桜は散って、葉桜になっていた。

「今日の入学式は母と2人で来たけど、4年後の卒業式は素敵な人たちに囲まれていますように」
願いを今出川に残して、私は会場の京田辺キャンパスに向かった。



桜見ぬ馬鹿、 飢えきらぬ馬鹿

文学部2年

今年の春は、来るのが早かったように思う。

そう感じた原因は、気温の高さより何より桜の花だ。バイトに明け暮れ部活に打ち込み、時間がなく走ることが多くなったある日のことだった。ふと

足を止めてみれば、もう桜は散っていき最中だったのである。地面には枯れかかった花びらが大量に散らばって、枝に残るものは僅かに過ぎなかった。桜の花がちゃんと満開だった瞬間は確かにあったはずなのだが、私はその瞬間を見た覚えはない。



う納得したが、何となく不安になる。人は一生のうちで、こんな経験を何度するのだろう。見ないうちに散ったのが桜の花ならまだいいが、それが大事な人や人になったとき、私は「また次がある」と納得できるのだろうか。自分の大切なものに飢えも渴望も持たず、適当に日常を送ることができのだろうか。

無ければ、恐らく桜を斬ってしまうしかあるまい。そうなれば後は、馬鹿になるか、その罪を誰かに許されるのを待つか、それだけになるだろう。

さて日本では今年、何人の人が桜の花を見逃したのだろうか。

「地域」と「地域」を繋ぐフリーペーパーに

イマ*イチは今号をもって95号の発行を迎えることが出来ました。これまでイマ*イチを手に取り、少しでもご覧くださった全ての読者の皆様に感謝申し上げます。

そんなイマ*イチは今年度より「地域」と「読者の方」のみならず、「地域」と「地域」を繋ぐフリーペーパーを目指します。乞うご期待くださいませ。

読者プレゼント

5月号の感想を送っていただいた読者の皆様から抽選で、「SHOP peaberry」様の「木のフォーク（1種）」「木のスプーン（4種）」の合計5点からランダムにプレゼントいたします！

メールアドレス imaichi2023doshisha@gmail.com に

1. お名前
2. ご住所・郵便番号
3. 年齢（任意）
4. イマ*イチ5月号を入手された場所
5. イマ*イチ5月号で1番良かったページとその理由
6. イマ*イチ5月号全体を通してのご感想（任意）
7. 今後のイマ*イチに期待すること（任意）

を明記の上、お送りください。

締め切り：2023年5月31日まで

個人情報の二次使用はいたしません。
当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。



◀こちらのQRコードを読み取ると簡単に感想を送れます！



天然木で作られており、手作業でイラストが焼き付けられています。

運営

- | | |
|----------|--------|
| 編集長 | 磯部 遥文 |
| 副編集長 | 田中 梨沙 |
| | 末岡 かえで |
| 会計 | 堀之内 涼 |
| チーフデザイナー | 雑喉 碧羽 |
| チーフライター | 竹縄 朱優 |
| チーフカメラマン | 清水 寛生 |

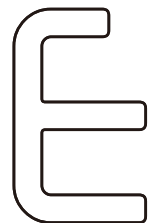
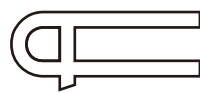
ご挨拶

2023年度のイマ*イチ編集長に就任いたしました磯部遥文と申します。イマ*イチをきっかけに「今出川地域」を知り、そして新たな出会い・繋がりを創出する。そんなフリーペーパーを目指して編集部一同で奮闘して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

イマデガワでイチバンの地域情報誌

イマ*イチ

発行日：2023年5月1日
発行：同志社大学 学生支援機構
今出川校地学生支援課
075-251-3270
編集：同志社大学広告研究会 add's



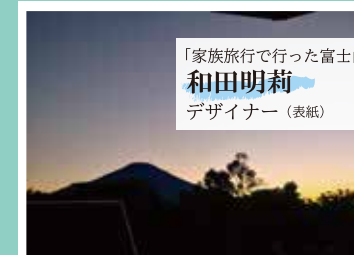
0 00000



「黄昏時に空を見上げて深呼吸」
谷山 菜優
デザイナー
(連載、編集後記、読者プレゼント)



「バイトの疲れを吹き飛ばす絶景」
竹中 翔悟
デザイナー (目次)



「家族旅行で行った富士山」
和田 明莉
デザイナー (表紙)

「早起きのご褒美 in 松島。」
磯部 遥文
イマ*イチ編集長



「実家のワンコとお散歩」
末岡 かえで
ライター (特集 P.07)



「夜の二寧坂を独り占め」
武田 宙
ライター
(特集 P.05 (美しいソート 11eno))



「京都を一望する唯一無二の夜景。」
堀之内 涼
ライター
(特集 P.05 (SHOP peaberry))



「疲れたときに眺める、エイの裏側」
清家 詩乃
ライター (コラム下)



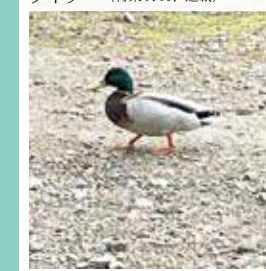
イマ*イチ5月号編集部員に聞いた

私へのご褒美

「テスト乗り切ったご褒美に尾道観光！」
丸山 菜々子
デザイナー (出張版アトム P.10-12)
ライター (コラム上)



「散歩中に遭遇したカモに癒される！」
竹縄 朱優
ライター (特集 P.06、連載)



「好きなカメラで撮り歩く」
清水 寛生
カメラマン
(特集 P.03、特集 P.05 (SHOP peaberry)、特集 P.06、連載)



「大好物のグラタンを大きいスプーンで！」
雑喉 碧羽
デザイナー (特集 P.06-07)

「お気に入りのベーカリーで作った自家製カナッペ」
松村 美菜
ライター (特集 P.03)



「上手く焼けた良いお肉」
山本 智天
デザイナー
(P.02、特集 P.03、WOT・CT、コラムページ)

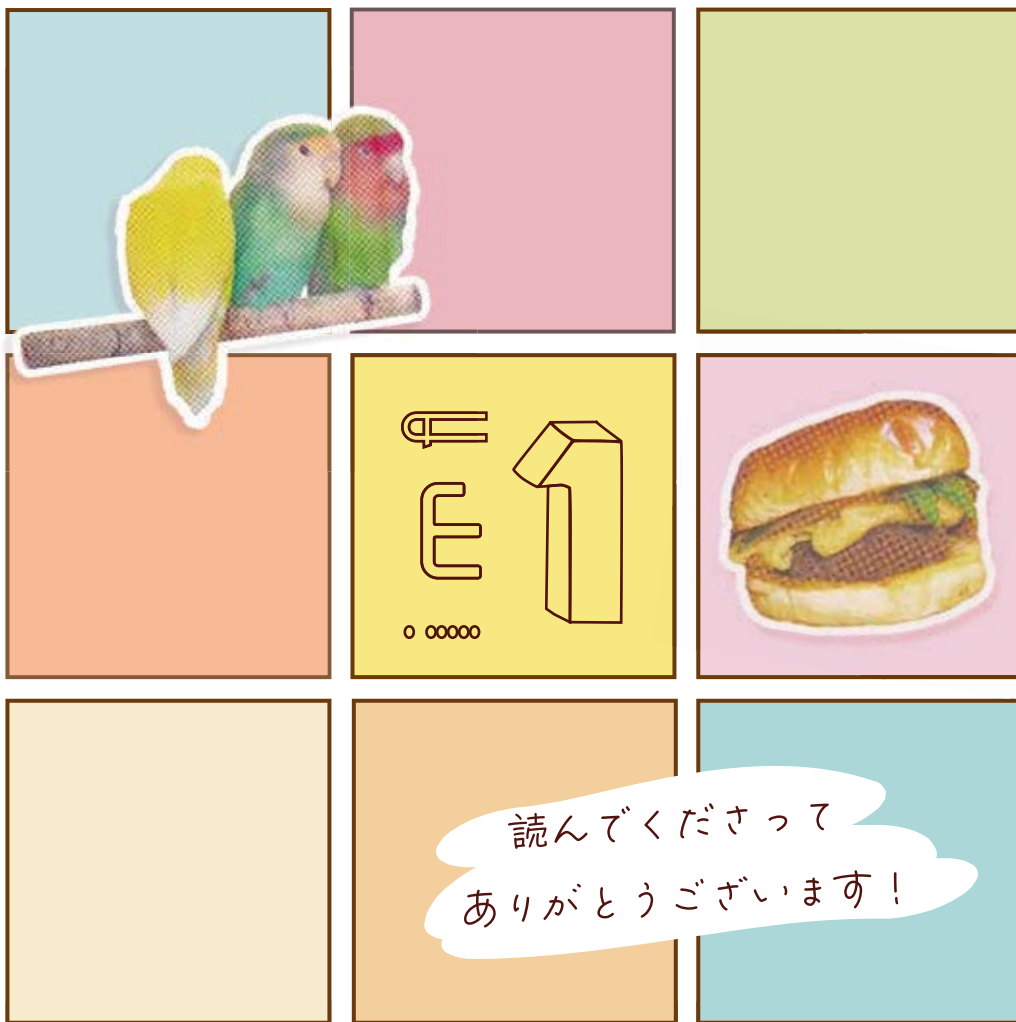
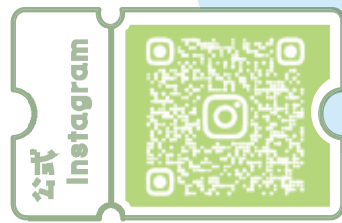


「激坂を登ったあとの絶景」
佐々木 瑠偉
カメラマン
(特集 P.04、特集 P.07)



「バイト先の閉店祝いにいただいた花束。」
田中 梨沙
デザイナー (特集 P.04-05)
ライター (特集 P.04)

イマ*イチ
各種 SNS は
こちら



次回もお楽しみに!